

就労継続支援 B 型事業 支援事業計画

1. 目標

- ① 就労移行を利用して、2 年間で就労できなかった人たちの利用も増えてきており、実際に就労へのニーズもあるため、就労できるようにしていく。
- ② 開所して 31 年が経過しており、当初からの利用者も加齢も進んできているため、健康で楽しく過ごせるよう支援をしていく。また、相談支援センターや地域の社会資源（グループホーム等）との連携を図り、親亡き後の問題について助言等をしていく。

2. 計画内容

(1) チェックリストの有効活用

チェックリストを活用し自立した生活ができるよう支援をしていく。

（年に 1 回実施し、利用者の課題点や目標を明確にし、支援計画に反映する）
各項目の能力を向上させるために、本人の特性に合わせた基礎訓練等を進める。

表. 訓練生用チェックリスト項目

領域	項目
基本的生活習慣	履物・掃除・みだしなみ・排泄・脱着衣・食事・言葉使い・移動能力 8 項目
基本的生活能力	病気に対する保身・聞く・話す・伝える・挨拶・話の理解・返事 7 項目
社会参加能力	規律を守る・集団参加（遊び） 2 項目
作業能力	確実性・持続性・後始末・安全性・器具の手入れ・体力・計画性・責任感 8 項目

(2) 治具の開発及び活用

障害の程度に合わせて、作業的に難しいようであれば、治具を開発して誰でも取り組めるように工夫をしていく。

(3) 作業内容

企業名	作業内容
丸菱 様	観賞用金魚のチューブ袋入れ作業
ビクトリア珈琲 様	贈答用組箱作業
名古屋市土木局 様	公園愛護会活動（矢田川河川敷の清掃活動）
ミカミデザイン 様	キーホルダー・ポストカード・ファイル包装のシール貼り
フルマーク 様	タオルギフト箱詰め・梱包作業

1. 作業工程を細分化したライン作業
2. 各人の適性に合った作業工程
3. 能力に応じた作業目標の設定
4. 役割を持たせてやりがい作りをする。

(4) 健康に関すること

1. 体操を朝礼後に取り組む。
2. 簡単な軽運動を週1回（20～30分程度）取り組む。

(5) 就労チャレンジチームの創設

就労へのニーズに応えるため、就労チャレンジチームを創設
就労移行支援事業と同じプログラムで行い就労に向けて準備訓練等をしていく。
就労への意識を高めていき、チャレンジチーム全体の力を付けていく。

(6) 防災に関すること

地震などの自然災害に備え、日頃から意識を高めるため、毎月2日に「防災の日」を
設け、防災に関する話や訓練を実施する。

(7) 職員間の連携・情報共有の充実化

毎月第2火曜日に職員打合せを行なう。利用者の課題、疑問、支援に対して不安に思
っていることなどを共有し、勉強会を行ない職員のスキルアップを目指す。

(8) 愛される人間像の形成

明るく過ごす 楽しく過ごす 仲良く過ごす 元気よくする 笑顔を育てる しっ
かり挨拶をする 清潔にする 言葉がけをしっかりとる（報告・連絡・相談） 約束
を守る 責任感を持つ 夢を持つ 感謝 ありがとうときちんと言う すみません
ときちんと言う 相手を思いやる優しい気持ち・心を学ぶ 何事も一生懸命する
以上のことを理解してもらい、誰からも愛される人になるよう支援を進める。